稲光会報

第43巻　64号

令和2年 11月10日発行
編　集　早稲田大学稲光会
発行人　内田陽子
題　字　滝口 宏

http://wasedafencing.com

松山恭助会員 全日本2度目の制覇

松山恭助（H31・左）、決勝戦で見事優勝！

今、求められるもの

稲光会員の皆様、日頃稲光会活動にご協力くださり、誠に有難うございます。

「75周年、皆でつなごう稲光会」、今春募集した75周年のスローガンの最優秀作品です。

84歳の志村豊彦先輩（S36年）が作者です。本当におめでとうございます。

会報には各世代の活躍記事が満載です。全日本選手権で2度目の優勝、オリンピック出場が期待される松山恭助会員（H31年）、今春の卒業生、コロナ禍にめげず部員を引っ張った村上夏希主将、校内戦の企画から動画配信まで実施してくれた千葉朱夏副将及び部員、将来が期待される新入部員等々じっくりお読みください。

このように稲光会・部はご高齢の先輩から10代の部員まで絆ががっちり結ばれています。お互いにより関心を持ち合って、この絆を未来に向けてさらに強固にしましょう。

残念ながら今年の「稲光会の日」は中止、来年の創部75周年記念イベントの開催も危ぶまれており、12月初旬までにはどのようにするか決定致します。

「75周年、皆でつなごう稲光会」どうか皆様お体に気をつけて来年お会いできることを信じ、楽しみにしております。

稲光会会長　植竹清

「負けない」意志

学生生活の貴重な日々を突然活動制限された部員たちは、しかし自分たちでできることを懸命に考え、自分たちでできる限りの部活動を続けてきました。

四月から六月までは、植村トレーナーの指導のもと、オンラインによる筋トレやストレッチで体力維持に励みました。入館禁止の大学施設が七月から体育各部に特別に使用許可され、当部も感染防止を施しながら、教場での練習を再開しました。

九月には稲光会のご支援を受け、部員たち自身で大会準備からライブ配信までも行う校内戦を実施し、とても盛り上がりました。稲光会の皆様に厚くお礼申し上げます。

今年の試合・大会を以て競技としての剣を置くほとんどの四年生にとり、いつの間にかその剣を昨年置き忘れてきたことになるところでしたが、十二月の早慶戦だけは開催できることになりました。全部員一丸となって戦い、そして勝って彼らを晴れやかに送り出します。無観客ですがライブ配信しますので、応援をよろしくお願いいたします。

監督　内田敏朗

（左上から）柴田、影山、駒場、中島、寺井（中段左から）狩野、溝口、仙葉、遠藤、小山、川村、金髙（前列左から）藤澤、蓮井、黒田、登尾、村上、千葉、高原、森多

早慶戦に向けて 校内戦で士気を鼓舞する

今春卒部生11名の近況報告

この春に卒部を迎えた11名ですが、コロナの影響により、卒業式や謝恩会、小野梓記念賞授賞式が中止となり、さらに部による送別会や会員による送迎会も行うことができませんでした。その後の近況について聞いてみると…。

加納虹輝

現在の近況ですが、ほぼ通常通りにntc※で練習できるようになり、毎日フェンシングの練習に没頭しています。次の国際大会がいつ行われるか分からない中でモチベーションを保つのは難しいですが、日々できることをやっています。

茂木雄大

富士フイルムで、医療IT・AI事業戦略に携わっております。医療IT分野は変化が激しいので、スピードを意識して仕事しています。皆様の健康を陰ながら支えられたら嬉しく思います。

竹田陸人

サッポロビールで飲食店への営業を行っており、江戸川区・葛飾区を担当しております。もしお立ち寄り頂くことがございましたら、美味しいビールが飲めるお店、ご紹介致します！

齋藤 里羅子

コロナ禍でなかなか県外に行けないため、休日は山形の自然や食材を堪能して山形の魅力を再認識しています。最近は保険関係の仕事に少し慣れ、高校のフェンシング部にも遊びに行っています。

十河昌也

香川県の東かがわ市というところで行政職に就いており、ようやく仕事にも慣れてきました。しかし、運動不足のせいか、最近体重が気になってきたのでトレーニングを始めました。毎年言っていますが来年の夏こそは仕上げていきたいと思います。

高木良輔

私は現在、東京ローカルのテレビ局で営業担当として働いています。多種多様な分野のお客様とお話させて頂き、日々刺激を受けています!!

木村 結

皆さんお元気ですか？私は4月から銀行員として地元山口で働いています。お金を数えるのが上手くなりました。社会人も楽しいですが、やっぱり大学で部活を頑張っていた頃が恋しいです。

安 雅人

昨年度末に現役引退を決断しました。現在はワセダクラブで選手・コーチとして活動しています。就活も無事に終えたので、来春まで様々な事にチャレンジしていきたいです！

中埜匡貴

大学院生となり時間に少し余裕ができたので先日、世界遺産である和歌山県の那智の滝に行きました。パワースポットでマイナスイオンをたくさん感じました(笑)

澤浦美玖

現在、通信関係に勤めておりますが、在宅勤務中に料理をやっと覚え今は元気に出社しています。最近は合格率17%の試験勉強の日々です。季節の変わり目ですが健康第一で頑張りましょう！

佐野友香

ご無沙汰しております。卒業してから半年、澤浦を食事に誘うも毎回断られ心が折れました。このままでは仕事人間になってしまうので皆さんにお会いできる日を楽しみに、小売業のお仕事に励みます。

※ナショナルトレーニングセンター

創部75周年スローガン「75周年、皆でつなごう稲光会」

多数のご応募有難うございました

我がフェンシング部は2021年に創部75周年を迎えますが、それに際して稲光会でスローガンを募集したところ、合計で34件（会員20件、学生14件）と多数のご応募がありました。その中で稲光会幹部による厳正なる審査の結果、志村豊彦先輩（S36年）の案が最優秀賞として選ばれました。志村先輩、すばらしいスローガンのご提案どうもありがとうございます。また、ご応募頂いた他の皆様にもこの場をお借りして感謝申し上げます。（幹事長 木田）

前期講評

今年唯一の国内大会全日本選手権個人戦は、4月1日時点の国内ランキング16位以上の選手だけに出場権を与えるという限定された大会でしたが、9名の稲光会関係者が出場することができました。既にご存知の通り、9月26日（土）に行われた男子フルーレ個人決勝において、松山恭助が4年ぶり2回目の優勝を果たしました。また会員の狩野愛巳と加納虹輝は、ベスト4入りと健闘しました。その他、会員の才藤歩夢と安雅人、部員の小山桂史、溝口礼菜、増田陽人、狩野央梨沙は、いずれも一回戦敗退となりましたが、そもそも国内ランキング16位以上限定の大会であり、むしろベスト16入りと称えたいと思います。（監督 内田）

全日本選手権 男子フルーレ個人優勝 松山恭助会員 優勝、おめでとう！

平成31年卒部の松山恭助です。この度、第73回全日本フェンシング選手権で優勝することができました。オリンピックが延期になりましたが、自粛期間もモチベーションを高く保ち、全日本選手権に自分の全てをかけました。次の大会は不透明ではありますが、これからの期間も有効に使いレベルアップしていきます！来年の全日本での後輩からの挑戦を待ってます

LIVE配信で校内戦を実施！

9月24日（木）開催の校内戦では、種目混合で10人対抗の「稲」「光」の2チームをつくり、1回戦は50対38、2回戦は50対44と2回戦とも稲光チームが勝利をつかみました。この様子はフェイスブックでLIVE配信を行い、初めてのオンライン配信に部員達の苦労はあったようですが、「遠方にいる先輩方にもリアルタイムで現役の活躍を見てもらえた」「動画を残すことによって好きな時間に私たちを見ていただける」と、オンラインを通じての先輩方との交流に効果や喜びを感じている様子でした。一方、先輩方から送っていただいた電化製品や食品、文房具等を参加賞として用意することができましたので、大会自体も大盛況、大成功で終えることができました。先輩方からのご協力、誠に有難うございました。

光チーム●
森多（2年）、村上（3年）、柴田（1年）、金髙（2年）、影山（2年）、遠藤（4年）、仙葉（4年）、川村（2年）、千葉（4年）、狩野（2年）

稲チーム●
小山（4年）、黒田（2年）中島（3年）、寺井（2年）、駒場（4年）、登尾（4年）、藤澤（1年）、高原（3年）、溝口（4年）

コロナに立ち向かう部員の姿

最後の早慶戦に思いを馳せて

新型コロナウイルスの影響で試合が次々と中止になり、チーム目標の総合優勝を達成することができませんでした。

自粛期間は、チームとして活動は途切れないようにしようとZoomでの自宅トレーニングを行っていました。また、広報係が中心となり、SNSなどで早稲田大学フェンシング部の発信を積極的に行ってくれました。今年度の残された試合は早慶戦のみとなってしまいましたが早稲田が一つになり必ず総合優勝を果したいです。（主将 村上）

先行き不透明だから得られたものがある

この経験は、私たち部員を成長させてくれた貴重な機会であったと感じます。一人一人が自分の意見を持ち、それを表明して物事を進めることの重要性を学ぶことができたからです。また、前例も正解もない出来事に対して皆が意見を持って議論したことで、お互いの信頼関係を深めることができたと実感しています。

今後も当たり前の生活が送れること、周囲に支えられていることに、一層感謝の気持ちを持って過ごしていきます。（主務 仙葉）

コロナ禍で実践したことは？

❶自宅練習
- Zoomトレーニング（週2〜3回）
- Zoomミーティング（隔週で監督・トレーナー・4年）
- 剣を持って壁突き　●ランニング　●ダンス

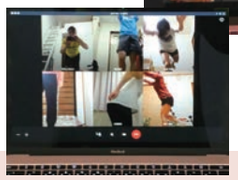
❷教場練習
- トレーニング（サーキットや器具を使用したもの）
- フットワーク

活動自粛による懸念点と解決策は？

❶部員同士のコミュニケーションの希薄化
Zoomトレーニングで顔合わせと会話をして解消

❷生活習慣の乱れ
トレーナーによる毎朝のヨガ（インスタライブにて）

❸モチベーションの維持
校内戦やレクを取り入れた練習（教場練習が再開してから）



苦労したことは？

正解のない物事に対して、4年なりの答えを導くこと。
何度も議論を重ね、各々の妥協点を見出して決めていった

創部74年目の三役はこの3人!!

主務 **仙葉楓佳**　主将 **村上夏希**　副将 **千葉朱夏**

三役全てを女性部員が担うのは、創部以来、初めての出来事

「早慶戦は、全部員で鼓舞しながら完全優勝を目指します！」

早慶戦のお知らせ

【第73回早慶戦】
[日程]12月5日（土）
[会場]早稲田大学戸山キャンパス 37号館 早稲田アリーナ
[タイムスケジュール]
10:00〜10:20 開会式
11:00〜13:00 男子・女子エペ
13:00〜15:00 男子・女子サーブル
15:00〜17:00 男子・女子フルーレ
17:10〜17:30 閉会式

・YouTube ・インスタライブ（解説中心）
※詳細は「Facebook」https://m.facebook.com/wasedafencing/に掲載致します。

大学側の開催条件を受け、当日の参戦者は両校部員、部長、監督、コーチのみの無観客試合となります。LIVE配信を行う予定ですので詳細はフェイスブックまたは稲光会メールにてご確認ください。今年唯一の最大のイベントですので皆さまの視聴での応援をお待ちしております！

※変更になる可能性があります。

新入部員 2020 NEWFACE

❶学部 ❷出身校 ❸種目 ❹抱負 ❺これまでの戦績 ❻得意な技

齋藤 丈（さいとう じょう）
❶商学部
❷山形県立山形東高等学校
❸サーブル
❹全日本選手権出場
❺インターハイ個人サーブル ベスト16
❻コントラアラック

楊 安牧（やん あんむ）
❶基幹理工学部
❷私立東京中華学校
❸フルーレ
❹一生懸命
❺特にありません
❻これから見つけていきます

ビューワニック・ダグラス
❶スポーツ科学部
❷私立星槎国際高等学校
❸フルーレ
❹日本一
❺茨城国体3位
❻ふりこみ

藤澤 将匡（ふじさわ しょうま）
❶スポーツ科学部
❷私立仙台城南高等学校
❸フルーレ ❹インカレ優勝
❺インターハイ個人フルーレ3位、全国選抜エペ団体優勝 ❻アタック

蓮井 陽菜（はすい ひな）
❶スポーツ科学部
❷香川県立高松北高等学校
❸エペ
❹インカレ個人・団体優勝
❺インターハイ4位
❻捉えアタック

仙葉 遼輔（せんば りょうすけ）
❶国際教養学部
❷秋田県立秋田南高等学校
❸エペ
❹インカレ優勝
❺インターハイ7位
❻小手突き

柴田 華（しばた はな）
❶スポーツ科学部 ❷神奈川県立横須賀大津高等学校 ❸近代五種 ❹世界でも活躍できる選手になれるように頑張ります！ ❺U19近代五種アジア選手権 個人7位、団体3位 ❻これから見つけていきたいです